



物価上昇に負けない「2024年度賃金のベースアップ」の実施と 働きがい・生きがい・こころの豊かさを求める申し入れ

2月26日(株)JR東日本ステーションサービスへ提出

JTSU-E 春
2024

ベースアップ

一律 18,000円

(定期昇給を含まない)

昇級係数

「4」の完全実施

定期昇給

1,000～2,000円の増額

申
し
入
れ
事
項

1. 「物価上昇分を考慮した生活維持向上分としてのベースアップ」を基礎に、2024年4月1日に在籍する**全社員の基本給を一律18,000円**(定期昇給を含まない)引き上げること。
2. 労働者にとっての“働きがい”“生きがい”“こころの豊かさ”と安心した生活設計を構築していくために**定期昇給を実施すること**。なお、その際の**昇給係数は「4」とすること**。
3. **定期昇給の基礎となる所定昇給額については、1等級から5等級に在籍する者へは2,000円を6等級から10等級に在籍する者へは1,000円を増額すること**。
4. 未曾有の物価上昇に対し、“生活の豊かさ”を実感し、“健康で文化的な生活”を保障するために**全社員一律10万円の特別手当を支給すること**。
5. 回答については、2024年3月31日までにを行うこと。

(株)JR東日本ステーションサービスは2023年度第3四半期決算においても黒字を達成
新しい領域の業務にも裾野を広げ、現場で働く組合員・社員は大きな成長を遂げてきた!
高まった「労働の価値」に対して、正当な投資を行うべきだ!

申
27号



物価上昇に負けない「2024年度賃金のベースアップ」の実施と 働きがい・生きがい・こころの豊かさを求める申し入れ

(株)JR東日本ステーションサービス 3月12日 第1回団体交渉を行う!

1. ベースアップを全社員一律 18,000 円 (定期昇給は含まない) 引き上げること。
2. 定期昇級の完全実施。その際の昇級係数は「4」とすること。
3. 所定昇級額については、1等級から5等級に在籍する者へは 2,000 円を、6等級から10等級に在籍する者へは 1,000 円を増額すること。
4. 全社員一律 10 万円の特別手当を支給すること。

JTSU-E 春
2024

組合要求内容

コロナ禍を乗り越え黒字を積み上げた今こそ満額回答を強く求める!

組合要求主旨

- ✓ JR 東日本グループの一員である JESS 会社においても本体同様にコロナ禍を乗り越え収入確保に尽力してきた現場の苦労、その努力に応えていくことが求められている。現場は増収してきたことに対する成果に自信を持っており、要求満額への期待に溢れている。
- ✓ 増収減益ではあるが、営業利益をしっかりと確保している。この原動力は設立から 11 年目を迎え、駅業務受託数が増加し、新しい業務にも裾野を広げてきた組合員・社員一人ひとりが大きく成長してきたことに他ならない。
- ✓ 安全輸送、そして利益を上げていく体制を労使で築き上げていくことが必要だ。

会社の現状認識

- お客さまのご利用・インバウンドのご利用が戻り、「お客さまに優しい駅」「安全で安心してご利用いただける駅」「地域の皆さまに愛される駅」を目指し、日々の様々な業務について効率的に執行体制を日々築いている社員の取り組みに感謝する。
- 当社においては、JR 東日本のエルダー出向社員が見込めないことから、技術継承の観点から、積極的な採用活動を行う必要があり、これに伴う人件費増加が必須となる。
- 2024 年度に就業規則の改正等を実施し、基本給表の一部見直し、初任給の改訂等により多くの社員の基本給が経過措置によって見直される。
- 基本給の引き上げについては、当社の経営環境や社会状況、物価等の経済動向を様々な要素をふまえ、総合的に勘案し、人件費に長期的に影響を与えるため、この場において真摯的に議論し判断していきたい。

現場の努力に合わない低水準の賃金では生活ができない!! 物価上昇に見合った賃上げを!

組合

合

- ✓ 繁忙期手当が大宮駅・上野駅・東京駅のみが対象で1期日 1,000 円であり、なぜ3駅だけなのか多くの社員が疑問に思っている。箇所に関わらずに出勤している全社員に支給するべきだ。
- ✓ 職場では勤務変更や休日勤務で勤務を保っている。休日勤務は給料が増えるため、給料の低い若手は無理をして休勤を受けている。無理が祟ると体調を崩しかねない。休日勤務を当たり前にはいけない。
- ✓ エルダー社員が退職期を迎える中で、社員数が増えない。人手不足が危惧されている。業務量が増え、昨今の物価高と社員のモチベーション確保のために満額回答は必須だ!
- ✓ 社員が親に「30代でこの給料では、結婚も独立もできない」と心配されるという声も出ている。これが現実である。グループ会社全社員の賃金をあげることが必要である。

会社

- 繁忙期手当は特企券の利用制限期間の利用が著しく利用が多い駅を対象にしている。対象駅に応援に来ている社員も賃金規定に基づいて支給している。
- 積極的に勤務を受けていただいていることには感謝申し上げる。社員の健康は非常に大切であり、様々な勘案しながらお願いをしていく。
- 基本給の引き上げに対しては貴側の主張をしっかりと受け止め、検討していく。

組合員の生活保証・モチベーション向上のため、賃金に還元すべきだ!



物価上昇に負けない「2024年度賃金のベースアップ」の実施と
働きがい・生きがい・こころの豊かさを求める申し入れ

(株)JR東日本ステーションサービス
3月21日 第2回団体交渉を行い、**会社回答が示される!**

妥結!

- ◆ ベースアップ：社員の基本給に対し、**一律 5,000 円**
- ◆ 賃金規程（平成 25 年 4 月 1 日 JESS 達第 1 号）別表第 2-1 に定める基本給表を改定し、各等級の上限額及び下限額にそれぞれ **5,000 円**を加える。
- ◆ 定期昇給：**昇給係数 4**での実施
- ◆ 精算：**2024 年 6 月 21 日以降、準備出来次第**

【参考】社員数：1,740 名 平均年齢：30.3 歳 平均基本給：221,915 円
(2024年3月1日現在)

確認事項

優秀な人材の確保・定着を図れるよう賃金をはじめ
労働条件の向上・働きやすい環境の整備に取り組んでいく!

- ✓ 今回の回答は、定昇の完全実施、ベアは一律で5,000円であったことは、私たちが声をあげてきた結果だ。昨年（ベア2,000円）を大きく上回る回答を引き出した。
- ✓ 要求水準からしては程遠いけれども、JESS会社として頑張ったのではないか。
- ✓ 今後は、決算結果に踏まえて年度末手当に準じた要求をしていきたい。また、すでに提出している職場環境改善の交渉をつくり具体的な改善を図っていく。
- ✓ 輸送サービス労組運動を堂々と押し進めていく!

たたかいたの成果を確認し、さらなる労働条件・労働環境の向上を目指そう!